

東芝深谷 OB会会報

[第11号]

OB会事務局
048(574)2014

第十二回総会を終えて

渋谷 昇

九月十六日第十二回総会が顧問の皆様十四名、会員二〇七名の参加を得、事務局の御協力をいただき盛大に終了出来ましたことを深く感謝致します。

今回は会社の都合で夏祭りが中止となり、総会のみで開催することになりました。

そこで折角皆様においでいただきますので総会の前に同好会のPRをさせていただきますました。

一、一丁同好会によるOB会ホームページの紹介
四回実施

二、囲碁、将棋同好会による詰碁、詰将棋及び実戦指導

三、グランドゴルフ同好会によるグランドゴルフの実戦指導。

後半は雨となり中止となるアクシデントもありましたが、

次に総会の後は、

一、厚生年金基金の東芝から国への返還について説明

二、津軽三味線のライブ

OB明石梅秀さん他四名による約三〇分間でしたが皆様方が感心しておられました。

その後の懇親会は、通常ですと約三〇分で座がみだれていましたが今回は二時迄の間、多くの方々が懇親をされておりしました。

来年以降も夏祭りはないとの前提に立つて総会の時期、催し物等を十分考慮して行いたいと思いますのでより多くの皆様方の御参加をお願い致します。

以上

OB会会報に寄せて

深谷工場長 井入 正博

OB会総会が九月に盛会に開催されましたことを心よりお慶び申し上げます。私は四月に赴任して参りましたので初めてのOB会でしたが、歴代工場長はじめ多くの諸先輩にお目にかかり心温まるひと時を過ごさせていただきました。

本年深谷工場は、二月のCDT生産終息、四月の東芝松下ディスプレイテクノロジー(株)の発足等を経て、今なお大きなうねりの中にあります。ここでは今後の深谷工場について現時点での私見を述べさせていただきます。

かつて日本の電子産業は家電製品とその部品を中心とした大量生産により興隆を極めました。しかし現在はパソコンを中心とする情報化の進展におけるソフトウェアの比重の高まりに十分対応できなかったこと、およびアジア各国の労働力を背景にしたコスト競争力強化に対抗できなかったこと等により苦戦を強いられています。今後

のエレクトロニクスはパソコン中心からインターネットと家電が融合した「ネットワーク家電」へと発展していくものと考えられており、この分野での日本の電子産業の復活が期待されます。

そのような時代の電子産業の拠点は、マーケットニーズに対応して新製品を次々と短いリードタイムで出せるかどうかが問われます。技術部隊が新製品を開発・設計し、製造部隊が高い歩留・品質の生産を立ち上げる、これを繰り返す必要があります。そのためには研究・開発と生産を同じ敷地で行うことが有効で、優れた技術力と能力の融合が必要です。

幸い深谷はユーザーの集中する首都圏に近い好口ケーションにあり、また上記の条件に十分対応可能と考えられます。課題を克服していけば必ず道は開けるものと確信しており、その実現に向けて微力を尽くす所存です。

OB会の皆様には、今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。

総会に三味線かかえて

明石 梅秀

九月十六日のOB会総会は、例年行なわれていたお祭が取りやめになり、残念でしたが、かわりに私共の津軽三味線と民謡を、企画して頂きまして、誠にありがとうございました。

初めて大勢のOB会の皆様に、日本の伝統芸能に触れて頂き、大変嬉しく思いました。

皆様のご声援を頂き私も元気付きました。

民謡は「心のふるさと」と言います。和み、くつろぎ、忘れかけた大切なものが、民謡の中に生き続けています。

色々の所でこのようなミニコンサートをやらせて頂いていますが、良く言われる事は「元気を有り難う」と言われます。そうした民謡を続けて良かったな一と思いつながら、私も元気を頂いて元気を出しています。

今回のOB会の皆さんが、真剣に聞いて頂いて本当に嬉しく思いました。

メンバーの女性達も喜んで、よろしくとの事です。ありがとうございました。

一言PRをさせて頂きます。平成十四年十二月一日、梅秀民謡発表会を行います。場所、群馬県木崎公民館ホールです。

又来年は群馬県代表で全国大会「内閣総理大臣杯」出場が決まりました。これは十月六日に群馬県大会で優勝したからです。

民謡同好会に入会して

清野 正一

OB会に民謡同好会が出来て早くも四年になりますが、最初入会した時は、民謡は非常に難しく、とても私などには出来ないものでないかと、ためらっていましたが、それまでカラオケ同好会で歌っていた仲間に民謡同好会発足に伴い入会を勧められ、どちらか歌うことには変わりはないと軽い気持ちで入会。

ところが、カラオケとは発声法がまるで違い、声が出ない、息が続かない、民謡独特のユリが入らないと、悪戦苦闘をしている始末。それでも、出ない声を絞り上げ、一声出す度に喉を潤し練習に励みます。

練習（稽古）は月二回、ワークショップにて夜七時より、梅秀会主、明石梅秀先生（明石昭二氏）の指導で二時間練習（稽古）をしますが、一曲歌うと汗が程よくかきこれも良い健康法かと思っております。

会の主な活動と言うと、年一回の発表会、各イベント、文化祭などの地域行事に梅秀会員として出演、日頃の練習成果を披露します。

又十二月一日(日)に木崎公民館(新田町)で今年度の発表会を行います。

会員のメンバーと言うとOB会同好会が一〇名、梅秀会(木崎)が二〇名、会主と総勢三〇数名程の会員数になります。

三味の音と、笛、太鼓、お囃子に合わせて歌うのも楽しいものです。是非皆さんも入会して一度自分の故郷の歌(民謡)でも歌って見てはいかがでしょうか。

生甲斐

軽ハイキング同好会

片岡 敬三郎

人生のふしめである定年を迎え、若い頃には考えても見なかった「生甲斐」について、そーっと自分の歩いてきた道のりを振り返って、昭和に生れ途中新しい年「平成」となり今「生甲斐」について考えて見ますと、自分はどう思ってきたのだろうか、若い頃は、一生懸命働き、結婚して子供が生れ家族が出来て、そんな中家族の幸福を守ることに思っています。

これから先の生甲斐は何んだろ。子供達も親から離れてい

き、夫婦二人の生活で、自分の中での生甲斐とは健康を守り残された人生を楽しく生きることである。健康であれば何んでも出来る楽しさがある。

皆さんも「生甲斐」とは何か、自問自答して見るのも良いではないか。人それぞれ人生の生き方があるように、また生甲斐も人それぞれであると思う。

釣り同好会の一員として

石田 実

釣り同好会に入会して早二年余り経過して居りますがその間二度、赤城の釣り堀で二ジマス大会に出席しましたが成果は余り良くなかった様に思っています。行事も少ない気がします。最近では今年から幹事の一員を引継ぐ事になりましたので同好会を更に盛上げる為に幹事一同一丸となり頑張るつもりです。その為にはまず手掛りに会員名簿の作成を年間行事計画を立案し全会員に配布。そして出来るだけ多くの参加を希望する次第です。会員の御協力を宜しく願致します。最後に一人でも多くの釣り同好会の入会者の募集も受付けますので宜しくお願い申し上げます。

カラオケ同好会

池田 重郎

私も定年退職を迎え、OB会事務局よりの同好会入会用紙の配布の中で色々な趣味と交流を広げる同好会がある事を知り、私は、カラオケ同好会に入会して、会員の皆様方と交流を深めております。

私は若い頃から歌が好きで、カラオケ、スナック等に行き酒を飲みながら、下手な歌を恥も外聞もなく、人前で歌う事が好きな変わった人間です。カラオケ同好会入会の御陰で多少歌に自信が出て来ました。私事です、昨年能登、輪島へ旅行に行きホテル高洲園に宿泊した時、ホテル内のお祭り広場というイベントの出来る場所です。日本作曲家協会の審査員による毎夜、のど自慢大会が開催されており、参加料金を払って出た所、敢闘賞という事で輪島塗りの盾と賞状を頂き、楽しい旅となりました。カラオケ同好会の御陰です。会員の中にも外部のカラオケ大会に出てはトロフィーを沢山持っている人もいます。カラオケ同好会も毎月一回ワークピ

アに集いお茶を片手に個人々が自分の好きな歌を個性豊かに熱唱しております。今では、一流作曲家によるレッスン用のテープを購入、参加者全員で新曲への挑戦におぼえるまで時間をかけて一曲々習得に頑張っております。レッスン用テープも今では十二本ありテープの貸し出しも行い次回までにマスター出来る様個々に頑張っております。カラオケは腹の底から声を出す事で健康的で精神的にも良く若返りの秘訣ではないでしょうか。カラオケ同好会ではワークピ利用の場合はお茶と菓子で行い又、年二、三回はスナックカラオケ、居酒屋等で酒を飲みながら日頃の練習成果を小舞台で歌う時は本当に盛大です。お茶を飲みながらと酒を飲みながらとの違いで格別な美声ともなります。

カラオケ同好会会員も現在三十五名でやっています。OB会の皆様方で同好会に入っていない方や他の同好会に入会している方を含めカラオケ同好会に入会されます様会員一同お待ちしております。

将棋同好会に参加して

佐藤 繁

早いもので将棋同好会に入っ
て、もう三年半が過ぎた。月例
会もこの二年は、皆勤を続けて
いる。

私が将棋を覚えたのは、小学
校に入る前、父から教えて貰っ
た。何回指しても負けてばかり
で、泣いたのを記憶している。

小学四年の頃は近所の大人
達と指していた。

小学六年の時、隣家の人と
初めて指した。私の三勝一敗
となり、その後彼は指しに來
なかった。

中学の時、彼と再戦、結果
は、まったく歯がたたずの五
連敗。彼は道場に通っている
という。

その後は何回指しても、差は
広がるばかり。私はすっかり落
ち込み、将棋を止めてしまっ
た。その後六年近く、将棋の駒
に触れることはなかった。

東芝に入社後も、昼休みに、
四〇五回も指す遊びと、人の将
棋を見ているだけだった。

退職後、人に誘われて同好会
に入ったが、自分がどの程度指
せるか解らず、最初は全て「平
手」でお願いした。

考えるのが苦手では勝てるは
ずもなく、負越しばかり。

しかし、局後の検討や、高段
者の指導を受け、最近少し、
サマになってきた。年間勝率五
割をキープ。あと五分上げてい
きたい。

最近では若い人も多くなり、情
報交換の場としても、今後はま
すます楽しく、賑やかに、そし
て勝負は厳しく参加していきた
いと思う。

十一月は総会を兼ねて、一泊
で鬼怒川に行きます。

幹事の方には、御苦労を掛
けますが、よろしく願ひし
ます。

最後に、将棋に興味のある方
の入会をお待ちしています。

パソコンって楽しいですね

草花盆栽同好会 石井 忠孝

例えば盆栽技術について知り
たければ、先輩に聞いたり、本
で調べたり、専門家に相談した
りで手間が掛かりますよね。

ところがパソコンなら、イン
ターネットの情報から、同じこ
とが居ながら短時間にできま
す。

私は日に何度かパソコンに電
源を入れ、気ままにインタ
ネットやEメールを見る。写
真・切り抜きの保存。特に新聞
連載「花おりおり」という花の
解説記事は十分保存しました。
わが同好会の役に立てばと思い
ます。

話変わって恐縮ですが、今年
の確定申告は、その表をそっく
りパソコンで作成し計算しまし
た。収入始め各項目を入力。瞬
時に納税額やら結果が「オーッ
出た！」便利なものですね。

「確定申告は手計算で十分」
でしょうが、パソコンのゲーム
感覚が面白く、それにその表を
パソコンに保存しておけば、何
回も使えて楽です。これから

十一月は年賀状の図案あれこれ
です。

ここまで述べると、「お前
よほど暇だな」といわれそう
ですが、お陰で現在平凡感謝
の日々、他にもやれること
色々です。

暇は作るもの、私のモットー
は早起き早寝。毎朝五時起床な
がら八時間は睡眠します。

ですから、夜九時過ぎのテ
レビは観ません。どうしても
観たい番組は録画です。そん
な訳でパソコンの時間は結構
とれます。

パソコン熱中者は孤独不健康
だとの説もありますが、それは
内容と程度の問題でしょう。

私は三年前パソコンを買って
今日まで、その多機能な技の習
得を楽しみながら、仲間もでき
健康でいます。

この分なら、今年古希を迎え
た私の晩年、やがて動けなく
なっても、パソコンの掲示板や
チャットやメールで、様々な人
と会話を楽しめるでしょう。

今では、パソコンは趣味や暮
しの良い道具になりました。

囲碁同好会に参加して

遠藤 保明

永年飼っていた金魚が、とうとう死んでしまった。飼い始めた当時体長が七センチ程だったのが十五センチにもなっていた。これまでは毎朝餌をやることとが習慣になっていたが、その必要がなくなりなんとなく寂しい気持ちになる。この世に生をうけた物は、いずれ死を迎える時が来る。二十数年も生きていたので寿命が来たものとあきらめることにした。

「生きることは何か、死ぬことは何か」などという難しい論議は本旨ではないので別にして、実は生死の問題は囲碁の世界にもあるのだ。生きている石。死んでいる石。相手の石に囲まれ一歩しかできなくて、あえなく死んでしまう石。やっと二眼作って、からくも生きる石。対局中時には「殺してやる」「殺しに来た」「やられたか」「死なずに済んだ」などと物騒な言葉が何気なく発せられる。正式な対局ではこのような言葉は慎まなければならぬが、当同好会の雰囲気は「和気あいあいと囲碁を楽しむ」がモットーなので、その時々

持を自由に表現して良い。

囲碁では死んでいたはずの石が生き返ることがある。この辺が現世との違いになる。第一の発生要因は「コウ」の存在である。囲碁ルールでは「同型反復禁止」と言われ、碁石一個を取ったり取り返したりすることで、取り返すには相手に「コウ材」の存在が必要になる。コウ材として利用した結果死んでいたはずの石がよみがえるのである。

「コウがあるから面白い」というのは高段者の言で、私もそうなりたいたいものだ。

釣り同好会

山上 富次郎

同好会としては、一年以上の空白の開催で申訳け無い次第でした。何とか同行者八名が賛同する事で例年通りのます釣りと致しました。半日釣りと言う事で現地集合で連絡を取り合い、いざ出陣となり釣り場に出発、久し振りの早朝でチョイト眠い。目的地の赤城山も朝日の中では上が居る物で先着組がいて既に準備を整えて待ちかまえていた。参加者全員といっても八名ですが午前八時頃には集結しそれぞれのポイントに散っていく。仕掛は五M前後の竿に丸玉浮きでエサに至っては個々に極秘のネリもあり、活エサや市販のぶどう虫とさまざま、常連のHさんが早くも魚信をゲット、他の名人各位も負けじと竿をおる。あちらこちらで歓声が上りにぎやか状態が釣場に響く。大きな物で三〇CMを越える魚体もあり久し振りに感触を充分に味わう事が出来た。

一段落すると一年振りの名人達の楽しい語らいがあちらこちらで始まりビールも入り和気藹々となり想い出話しにも一段と熱気が入る。

今回は会員の釣り名人Yさんから特別手製の継ぎ竹竿を記念に戴き大物トップ賞としてーさんに進呈した。

今回の釣果は一〇尾から三〇尾と差はあるが半日釣りとしては充分楽しめたと思います。旧友との語らいもあり充実した半日でした。

終了後に記念写真を取り再会を約して各自帰途につきました。

申し遅れましたが釣行日は七月三〇日でした。淡水釣りはこれから季節です。次回は貴方もぜひ同行してはいかがですか。

平成十四年十月十九日 青柳 進

① 栗はぜて滴江下りの終りけり

久し振りに甘栗をたべた。五年前中国勤務時に妻の還暦祝いに招待した。五時間余の幽境の旅後船着場で栗をはぜていた。今年私は古希を迎えた。

② 小食の孫のお代りとりろ汁

小食で食事時が苦手の外孫の、思わぬ注文である。天高く馬肥える秋。

③ 紺碧の空に網打つ秋の蜘蛛

青すぎる秋空一面に蜘蛛が霞を入れた。

④ 利根の秋爺婆襲うグライダー

秋の吟行会は利根川べりだった。突如若者のグライダーが頭上から着陸！

⑤ 木守柿こんな余生もありにけり

とは言え、高年齢化社会では、木守柿も狭き門

ゴルフ見聞録

大滝 紀克

私のゴルフとの出会いは三十五年前に遡る、シカゴに出張した際にドライビングレンジで体験して帰国後に本格的に始めたが、自己流で練習場嫌いが上達を阻んだ。

海外での仕事が多く、多くの国でプレイする事が出来た。

日本のゴルフ場は必要以上に造り過ぎており、欧米では自然の中にフェアウェイとグリーンがある感じで、ハザードは難しい。

東南アジアは日本人が多く訪れる為か日本のゴルフ場に似ている。

基本的な違いは、ハーフを終わりで昼食を摂り宴会もどきの酒盛りの後で残りのハーフを回るのは日本だけで、十八ホール通してプレーするのが普通である。

最終赴任地であるジャカルタでは四年半の赴任中に約三百五十回のラウンドをした。

出張の無い週末は殆どゴルフ場に出掛けていた事になる。

ジャカルタ近郊には三十ヶ所以上のゴルフ場があり、何処も日本人駐在員が多くプレーしていた。

日本では一日掛かりのプレーだが早いスタートでは昼前に上がれる。遅いスタートでも二時頃には帰途に着ける。

強く印象に残っているのは英国の駐在時代に通ったゴルフ場である。メンバーは到着順にチェックインもせずにスタートして行く。

クラブ数本のハーフバックを担ぎカートを引いている人は殆ど無い。生活の中でのゴルフの位置づけが国柄によって違うのだろう。

●工藤 昭さんが十四年十月
ご逝去されました。

慎んでお悔やみ申し上げます。

編集委員

幹事

//

小林 哲嗣
斎藤 登